

第 15 回 東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会

開催日時	平成 30 年 12 月 19 日（水） 13：30～15：35	場 所	東海村役場 行政棟 2 階 205 会議室
出席者	委員／◎小原委員，○井坂委員，川亦委員，坪委員，安尾委員，荒木田委員，原委員，川崎（敏）委員，藤田委員，川崎（道）委員 事務局／企画総務部 企画経営課 佐藤課長，石井課長補佐，松崎係長，照沼主事 建設部 都市整備課 河西課長，高橋課長補佐，横山係長，大内主任 欠 席／久賀委員，宇野澤委員，鈴木（さ）委員，鈴木（千）委員 (◎：委員長，○：副委員長)		

○当日の活動・協議内容

1 開会（企画経営課佐藤課長）

2 小原委員長あいさつ

本日はパース図（案）について議論いただきます。パース図はサウンディング調査に活用していくということですが，サウンディング調査は民間の視点を聞く貴重な機会です。ぜひ，民間事業者が魅力的だと思えるようなご意見をいただきたいと思います。また，正月マルシェの話も進んでいると聞いていますが，このような取組みを機に様々な主体が協力する流れができることを期待してごあいさつとさせていただきます。本日もよろしくお祈いします。

3 議事

(1) パース図（案）について

※資料 1 「エリア別パース図（案）」について，照沼主事より説明

■資料 1 は，東海村でなくてもありえるような図に見える。魅力が今一つ伝わらない。（川亦委員）
⇒固有の魅力については，絵に文字を重ねる等，活用する中で表現していきたい。（照沼主事）

■本パース図をサウンディング調査に活用すると想像したとき，民間企業は手を挙げにくいのではないだろうか。本村を全く知らない人が見たとき，魅力が伝わるだろうか。（川亦委員）

⇒人は特徴的な景観があるからその場所に来る。（パース図で）何を見せるかが重要だ。例えば，大神宮と虚空蔵堂をもっとリアルに描いてはどうか。（小原委員長）

⇒資料 3，12 頁のような形で引きの絵でも，村独自の景観を表現したい。（照沼主事）

⇒現状の絵は，当たり障りのない感じがする。既存の枠組みの中で，できてしまうようなものしか描かれていないので，期待を感じない。（井坂副委員長）

⇒おそらく，未来を描けていないのではないだろうか。（小原委員長）

⇒J-PARC の入口や委員会で話した縦軸と横軸を感じない。また，鳥瞰図など，意見が反映されていない（井坂副委員長）

⇒資料 3 の文章が表現されていないのではないだろうか。絵と文字が乖離している。文字化されているところは，描いてもいいのではないだろうか。（小原委員長）

⇒科学が描かれていない。村独自の風景は，歴史と科学が隣接しているところだ。全体図が必要だろう。また，国体も本計画の一つの出発点だったかと思うが，スポーツ感がない。阿漕ヶ浦公園エリアは，もっと，スポーツ感があつた方がいいだろう。（原委員）

⇒ホッケーなどのスポーツを描くことも検討はしたが，描ける枚数にも限りがある。より，意見が多かつた湖畔でのランニング・ウォーキングを描いたところだ。（照沼主事）

■大神宮・虚空蔵堂エリア②は幌馬車よりも、スポーツ合宿などを描いてはどうか。(原委員)

⇒現状の絵だと海を感じない。海と白砂青松とランニングを強調した方がいい。(川亦委員)

■パース図はサウンディング調査で民間へ提示する。欠けているとすれば、宿があることなど、経済的な観点だろう。パース図、大神宮・虚空蔵堂エリア①のような店舗をサウンディング調査によって、民間事業者が手を挙げるかと言われたら違う。何をターゲットとしてパース図を使うか、ぶれている。細浦青畝エリアのパース図は郷土的な良さしか伝わらない。俯瞰図とセットでうまく表す必要がある。また、地図を描くわけではないので、現実と少し異なるとしても、強調するところも必要だ。

もう一つは、本当に、時間軸的にパース図を入れ、サウンディング調査に使用するのが正しいのか疑問だ。私たちの望みは、ここがにぎわうことだ。手を挙げてもらえるようなパース図にしてほしい。そのためには発展させてほしいものと経済的なものを入れ込みたい。(安尾委員)

⇒資料3、6頁に地図があるが、今回、この全体図もパース図として描く。ここに、本会議で話してきたことを、どう落とし込むかだ。それに加え、12頁のイメージのような形でパース図を描く。サウンディング調査では、引きの絵で村松地区の大きな可能性を示す。

また、村松地区を紹介する将来デザインのパンフレットのようなものを作りたい。それはサウンディング調査にも使えるし、例えば、住民のみなさんに委員会の考えを示す資料としても使っていきたい。サウンディング調査で民間事業者へどう響くかがあるかと思うが、エリアによっては民間が参入すべきではないところもある。真崎古墳群などに大規模開発は求めている。滞留施設やカフェなどは民間の手を借りながら開発したいということをアピールしたい。

もう一点、参道について、現状、住民が住んでいるところに、街を造り変えるようなものを描いたときに、それがベストなやり方だろうか。まずは、にぎわいをどう創出するか絵を描いた。もう一步踏み込んでほしいという意見も分かるが、今回はこのような描き方となった。(松崎係長)

■改めて、サウンディング調査とは何か。(藤田委員)

⇒開発などの際、これまでは村が計画を作って、公表し、公募をかけ、提案を受け業者を決定する流れだったが、サウンディング調査は公募以前の相談段階の募集を公に行う手法だ。今回で言うと、村松地区の将来デザインを元に滞留施設など民間事業者の市場調査を踏まえた提案を受ける。ただ、あくまで提案であって、決定ではない。可能性について話し合うのがサウンディング調査だ。(松崎係長)

⇒地域の資源・レイアウト・制約があることを見せるような全体図がポイントになる。それにより、隣接する地域と合わせて開発する可能性も出てくる。駐車場から道の駅を通って大神宮へ行くといった流れのイメージが大事だ。真砂寮の辺りも、道の駅などイメージが理想だという意見もかなりいただいているだろう。(藤田委員)

⇒真砂寮地は滞留施設の絵を描いてもらうように、進めている。J-PARCへのアクセス道路も描く。この地図で描ける動線やつながりをパンフレット等で見せたい。そのための材料としてパース図を作る。(松崎係長)

⇒委員は分かるが、外の人にも伝える必要がある。さらに、まずは地元の人が喜ばなければいけない。民間投資により実現できるものばかりではない。そのときに重要なのが条件だ。そういった要素は、絵では消えてしまう。また、つながりと言葉では入れるが、ゾーニングや動線を面で表し、条件を出す必要がある。中間報告の段階で土地の話などを含め、まとめた方がいい。その条件を作った後で、商売へ向けて条件を付けなければいい。資料3の現状と課題以上の課題を明確にしてほしい。(塚委員)

⇒パース図とは、そもそも必要なのか。(荒木田委員)

- ⇒パース図は、サウンディング調査資料に加え、計画を推進するにあたり、村松地区に足を運んでもらうために、視覚的に訴える資料として必要だと考えている。(佐藤課長)
- ⇒ありがたい話だが、神社仏閣の現状は厳しい。今の檀家の方や来訪者を次へつなげる必要があるが、少子高齢化が進む中、若い人に興味を持ってもらうのは難しい。村松地区の当事者としては、地に足をつけた話をしてほしい。(荒木田委員)
- ⇒ご指摘いただいたように、課題と、なぜ、活性化が出てきたか。本委員会を作った意味が見えるようにする必要がある。(小原委員長)
- ⇒課題について、12頁などに記載している課題は、行政計画としての概論的な課題だ。特定の土地で何かをするためのハードルといった個別具体の課題については、あくまで実施主体が認識すべきものではないか。内容によっては、片方の人にとっては課題だとしても、もう片方の人にとっては利益となる場合もある。課題の整理については、この計画の次の段階の村松地区周辺地域活性化計画推進会議の中で、各実施主体が自分たちのやるべきこととして整理していく方が合っているのではないだろうか。(照沼主事)
- パース図でにぎわいを訴えるとしたら、1枚目の阿漕ヶ浦公園エリアはもっと人がいてもいい。テーマの絞り込みをして、メリハリをつけた方がいい。(小原委員長)
- ⇒ぱっと見て、わくわくドキドキしない。(坪委員)
- ⇒にぎわいの一方で、以前、村松は静けさが良いといった意見もあった。(小原委員長)
- ⇒サウンディング調査をなぜ入れたか。この計画上、大きなハード整備を村が描くことはできない。そのため、サウンディング調査により、民間の力を活用してみなさんの想いを描きこむのがスタートだ。サウンディング調査を実施すれば、ソフト面を含めた村松地区の全てが絵になるわけではない。どちらかという、大規模開発について言及するための手法だ。行政計画としては、予算の担保もなしに、カフェや道の駅予算を描くのは難しい。ただ、サウンディング調査で、これを形にできませんかと問いかけることはできる。サウンディング調査がみなさんの2年間の議論を全て網羅するものではない。(松崎係長)
- せっかくサウンディング調査を実施するならば、一目で魅力を感じ取れる(絵を描く)必要がある。うまく使えばシティプロモーションにも活用できるはずだ。(小原委員長)
- ⇒パンフレットに使用するならば、村外の人がここへ行ってみたいと思うものが必要だ。魅力的だと思う何かはまだ描けていない。(川亦委員)
- ⇒県内のつながりも見えれば、さらに広がりができるだろう。動線などを入れるといい。(坪委員)
- ⇒パース図に動線が落とし込んであればよかったのだろうが、そこまでは描き切れていない。言葉で表現する計画の部分と、地図で描くものは使い分けていきたい。(松崎係長)
- ⇒村の中でのつながりも必要だ。(仮称)歴史と未来の交流館からのつながりなどが無い。(坪委員)
- そもそも、本当にみんなやりたいのか。地権者は利権が絡む。具体の金額を提示しないと前に進まない。本当にやりたいならば、自分たちで組合など組んでお金を出すべきだ。(荒木田委員)
- ⇒大神宮や虚空蔵堂などの地権者だけではなく、地域全体のこととして、活性化させたい。住民にとってのメリットもある。阿漕ヶ浦公園エリアにランニングコースができれば、健康増進になる。人が大勢くれば、食事できるところができる。(川亦委員)
- 小原委員長から前回、大洗・ひたちなか構想の話が出たが、やはり駐車場は大事だ。真砂寮の買収を仮定して駐車場を入れた方がいい。本委員会の中で駐車場として活用したい意向は藤田委員から(JAEA側へも)提示しているのだろう。(川崎敏委員)
- ⇒もちろん出している。(藤田委員)
- ⇒何万台規模の駐車場を整備すれば、観光資源となる。また、どのくらい歩けば海まで行けるかな

ど、距離や時間を入れた方がいい。(川崎敏委員)

■風景を描いただけでも、動線を描けばパース図はいいかもしれない。大事なものは、エリアが分かり、動線があり、駐車場があり、土地が確保されている具体的なイメージがあることだ。にぎわいも描くが、あまり入れ込みすぎなくてもいいのかもしれない。(川亦委員)

⇒ご指摘があった時間や距離は今後入れ込んでいきたい。真砂寮についてご意見があったが、ここは本委員会の想いとして滞留施設を書き込む。(松崎係長)

⇒東海村独自の魅力である、歴史と科学はどうするのか。(坪委員)

⇒外部の私からすると、13頁のスカシユリが東海村のイメージだ。自然と科学が共存している。特徴的な景観があるとすればこういったものだろう。(小原委員長)

⇒表現ができないならば、AIやVRを活用してはどうか。パース図で描けないものもたくさんある。(井坂副委員長)

■スカシユリ、八間道路、クロマツ、虚空蔵堂、大神宮…これらはどこへ出しても恥ずかしくない資源だ。さらに、阿漕ヶ浦公園を入れ込み、合宿による活性化を見込める。古墳など、眠っていた歴史に目を当てる。それらをどう表現するかが重要だろう。(川崎道委員)

■以前に東京の医療センターへ行ったら、多くの中国人が日本の人間ドッグを利用していた。ガン治療のような、最先端の医療研究施設があるのなら、東海病院などでも財源確保の仕組みを作った方がいいのではないかと。(荒木田委員)

■サウンディング調査へ向けて、面の部分で、地理的位置や動線など、様々な可能性を売りにした方がいいのではないかとということであった。パース図については、ある程度強調する箇所を絞ったほうがいい。細浦青畝エリアは全員タブレットを持つなどした方がいいだろう。科学・歴史・自然がうまくパース図に入るといい。(小原委員長)

⇒大神宮・虚空蔵堂エリア①には、ホテルの看板を入れてもいい。さらに、大神宮がよく描かれていないので描く。三重塔の等の向こうにJ-PARCを入れられないか。(川亦委員)

資料1 (パース図(案))の修正箇所の確認

■阿漕ヶ浦公園エリアについては、本図にランニングなどスポーツを感じる要素を入れるということではよろしいか。(照沼主事)

⇒反対の角度から描くと、J-PARCの背景が写りこまないか。(小原委員長)

⇒おそらく、傾斜もあるので写らない。ホッケー場側から描くこととなり、それこそ、どこのサッカー場だかわからないような風景になるかと思う。(松崎係長)

⇒スポーツを楽しむ人がいる一方で、ピクニックや水辺の感じが伝わるようにしてほしい。ランニングは八間道路で描くので、ここはウォーキングにしてほしい。(川亦委員)

■大神宮・虚空蔵堂エリア①については、大神宮と虚空蔵堂が隣接する様子をもっと強調することと、旅館の看板を表現したい。(照沼主事)

⇒宿通りよりも、旅館の入口あたりから切り取ってもらえればいい。にぎわいについては、マルシェの写真などを入れ込めばいいだろう。(川亦委員)

⇒真砂寮地は、1階が道の駅で2階以上が独身寮とするような構想はないのか。(荒木田委員)

⇒(真砂寮地の活用については)今まさに検討中だ。(荒木田委員)

⇒日常のにぎわいがあってもいい。旅館にスポーツをやっている人が出入りしているような、住民がお参りしているような。(安尾委員)

⇒マルシェの写真をもとに、非日常のにぎわいを伝えることが可能だ。写真で描けないものをパース図で描いてほしい。(川亦委員)

⇒13頁に正月の大神宮と虚空蔵堂の写真を入れるとリアルだろう。それと、18頁の写真について、とうかい十二景の碑を入れるよりも、阿漕ヶ浦を入れた方がいい。(川崎道委員)

■大神宮・虚空蔵堂エリア②については、幌馬車をスポーツ合宿に置き換え、白砂青松をより、はっきりと描き、スカシユリはこのまま描く。(照沼主事)

⇒海を見せ、八間道路をもっと幅広に描いた方がいい。(川崎敏委員)

⇒砂防林植樹の碑を入れると、J-PARCがあることが伝わるので、入れた方がいい。(坏委員)

■細浦青畝エリア①については、タブレットを持ちながら話を聞いているように修正する。こちらについては、民間の開発を期待するというよりも、現状の地域資源を中心に描いたところだ。(照沼主事)

⇒真崎古墳群と分かるように文字を入れてほしい。(川亦委員)

⇒サウンディング調査に使用する割には、期待値を感じない。サウンディング調査用の資料と報告用の絵が混じっている。(坏委員)

⇒地域の方が将来をイメージするために描くものと、阿漕ヶ浦公園エリアのような、民間の開発を期待するものと分かれてしまう。(照沼主事)

⇒写真と絵が重複している。パース図で現状を描くならば、古墳群を上からとった写真はないか。また、資料3、21頁写真について天神山「頂上」ではない。(川亦員)

⇒頂上の表現について修正する。(照沼主事)

⇒資料3、21頁、真崎城跡の写真が分かりにくい。(川亦委員)

⇒違う写真に置き替えたい。(照沼主事)

■細浦青畝エリア②のパース図について、大神宮や虚空蔵堂、J-PARC、旅館などの景観が眺望として映るようにしてほしい。(川亦委員)

(2) 東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画(案)について

※資料2「計画策定スケジュール」について照沼主事より説明

■幼保跡地はパース図にないが、描かないのか。(川崎敏委員)

⇒幼保跡地はエリアが狭いので、スポット図は作成せず、鳥瞰図のみをパース図として作成する。現状の駐車場の設計に近い形で描く予定だ。(照沼主事)

■幼保跡地エリアは新川河口、対岸までは含まれないのか。(川崎敏委員)

⇒含まない。パース図で示す範囲と考えている。(照沼主事)

※資料3「東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画(案)」について照沼主事より説明

■ひたちなか海浜鉄道の東海村への延伸について何か考えているのか。(荒木田委員)

⇒話をしたことはある。(川崎敏委員)

⇒前回委員会で小原委員長からお話があった、大洗・ひたちなかりゾート構想について県の担当へ確認したところ、平成31年3月末までに計画策定予定だが、現状、市町村に示せる資料はないとのことであった。東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画は平成32年度中の策定を予定しているので、今後、県の動向を踏まえながら計画へ入れ込めるものは入れ込みたい。

(3) その他

①参考資料に基づき、正月マルシェの開催について照沼主事より説明(質問・意見なし)

②幼保跡地駐車場整備について大内主任より説明

- ・約 6000 m²の土地を桜の木を残す形で、国道 245 号側に 100 台位の駐車場を整備する予定。
- ・駐車場整備にあたって一部樹木を伐採する。一番大きなモミの木については残す方向で検討もしたが、根張りがかなり広がっているため、安全面・管理面から伐採することとなった。
- ・国道 245 号の拡幅後には舗装することも視野に入れている。

⇒本駐車場は、正月時などに活用すると思うが、通常利用についてはどう考えているのか。(小原委員長)

⇒通常時は、コミュニティセンターの駐車場として管理を行う。地域やこども園でのイベント時の駐車場不足に対応する。(大内主任)

⇒地理の研究者には、駐車場が増えると地域が衰退するという考え方がある。駐車場が空いていると、イメージが良くない。常に使われている状態が望ましい。(小原委員長)

■国道 245 号の反対側についても、空き家候補地や空き店舗などがあり、買収の可能性があるかと思う。(大神宮や虚空蔵堂へ向かうために) 道路を横断しない形で駐車場を造ってもらった方がありがたい。(荒木田委員)

⇒公共用地として空いている土地を有効活用するため、幼保跡地を整備する。国道 4 車線化に伴う横断歩道の設置についても、警察や大宮土木事務所と交渉していきたい。(河西課長)

■駐車場はいつできるのか。(荒木田委員)

⇒平成 31 年度中となる。(大内主任)

■現状、駐車場が使われていない中、碎石の駐車場ではなくクローバー畑にしてはどうか。(川亦委員)

⇒雑草が生えて、自治会の維持管理が大変になるだろう。(川崎道委員)

⇒クローバーを植えた場所があるが、雑草だらけになってしまった。(川崎敏委員)

■駐車場を使う人が増えたとして、どう活用するか。大型バスなども停められるという話もあったが、それらはリンクするのか。「こういう場所がある」と、周知・宣伝が必要ではないか。使ってもらわないともったいない。(安尾委員)

4 閉会 (佐藤企画経営課長)

(以上)